



AIは、2030年までに世界経済に16兆ドルを新たにもたらす可能性があります。¹

2019年には、デジタル・トランスフォーメーション活動の40%でAIが利用され、2021年までにはさらに大幅に増えるとされています²。ビジネスの世界では、AI戦略を採用しないのは、インターネット戦略やモバイル戦略を採用しないのと同じことです。

しかし、こうした巷に溢れるメッセージにもかかわらず、AIの採用は比較的低調です。どうしてなのでしょう。AIの力は理解しているものの、企業はその潜在能力を完全に引き出せていないのです。実際のところ、**AIは魔法ではありません**。非効率的なエンタープライズにかざすべき魔法の杖は存在せず、テクノロジーだけでは不十分なのです。

企業はAIの潜在能力を活用する方法を探しています。さまざまなソースからのデータを利用し、クラス最高のツールやフレームワークを活用し、各種の環境でモデルを動作させる必要があります。しかしながら、**ビジネス・リーダーの81%**はAIに必要なデータとインフラストラクチャーを理解していません。

85%³

のビジネス・リーダーはAIが戦略的なチャンスだと見ています。

94%

がマルチクラウドの活用に取り組んでいます。

- BCG

74%

はAIを既存アプリのモダナイズに利用しています。

- IBM

83%

のAI開発者がオープンソースに依存しています。

- Kaggle

1. 「AIは生産性、パーソナライゼーションの改善によりGDPを15.7兆ドル押し上げます。」、PwC、2017

2. 「New IDC Spending Guideによると、コグニティブとAIシステムへの支出は世界で2018年には191億ドルに増加します。」、IDC、2018

3. 「AIによるビジネス再建」、MIT Sloan、2017



課題

AI戦略の成功を確かなものにするためには、テクノロジーの採用、実装方法を理解し、その途上で失敗がありうることを認識しなければなりません。AIブレークスルーは大規模な実験で実現されるものです。実験の多くは失敗に終わるものの、成功すればそのインパクトは大きなものとなります。

しかしながら、真のAIファースト企業に変革するためには、克服しなければならない難問が大きく3つあります。

データ AIにとっては生命線だが、複雑さが進捗を妨げる

人材 AIスキルは希少なので、需要が大きい

信頼 AIを活用したシステムやプロセスに対する懐疑論

AI Ladder

AI Ladder (下記参照)はIBM®が開発したもので、顧客がAIジャーニーのどの段階なのか理解する手がかりと、どこに集中すべきか判断するためのフレームワークを提供します。これは、自社のビジネスを変革するために企業が検討すべき4つの領域、つまりCollect (データを集める)、Organize (データを整える)、Analyze (データを分析する)、Infuse (最終的にAIを業務に組み込み活用する)についてのガイドです。



Infuse/ 業務にAIを組み込み活用する



Analyze/ 信頼性と透明性を備えたAIを構築し、拡張する



Organize/ ビジネスやAIに使えるようデータを整える



Collect/ データをシンプルにし、アクセス可能にする

Modernize

自社のデータを、AIやマルチクラウドで活用できるようにする



IBMは貴社のAIジャーニーを加速するのに必要なあらゆるものを提供します。

IBM Data and AIポートフォリオ:

事前定義済のAIサービス

Watson™ Assistant、Watson Discovery、Watson API、Cognos® Analytics、Planning Analytics

ビジネスにすばやく利用できる構築済みのアプリケーション

データを準備する

データを整えAIモデル構築のために準備する

Watson Knowledge Catalog

AIを作る

AIモデルを構築し学習させる

Watson Studio

AIを動かす

AIモデルを本番環境で実行する

Watson Machine Learning

AIを管理する

信頼できるAIを管理、自動化し、拡張させる

Watson OpenScale

AIの準備、構築、実行、管理のためのツール群

Hybrid Data Management (Db2®) + DataOps & Governance (InfoSphere)

マルチクラウドに対応したデータとAIの統合プラットフォーム

IBM Cloud Pak™ for Data

データとAIのために事前統合された他に類のないサービス群を提供する、オープンで拡張性の高いクラウド・ネイティブな次世代データ・プラットフォーム

Red Hat® Openshift® –

クラウド・ネイティブのコンテナ・プラットフォームかつ運用サービス



ビジネスのための AIのリーダーと 認められています



Watson Discovery
によりIBMはリーダー
に選ばれました



Watson Knowledge
CatalogによりIBMはリー
ダーに選ばれました



IBM Cloud™ Private for
DataによりIBMはリー
ダーに選ばれました



Watson Assistantにより
IBMはリーダーに選ばれ
ました



Watson Studioに
よりIBMはリーダー
に選ばれました



Watson Discovery
によりIBMはリーダー
に選ばれました

IBMはAI市場シェアNo. 1



各業界にて受賞



数万社の企業が AIを活用してい ます。



がん免疫療法での
薬の可能な組み合
わせ14万通りのう
ち、詳細に調査すべ
き5~10通りを優先
順位付け



再生可能エネル
ギーの電力需要
を予測



電話対応の40%を
バーチャル・エー
ジェントによる対応
にシフト



広告の対象層とタイ
ミングを最適化



自動スキャンに
合格しない与信申し
込みを予測